

北海道反原発連合
渋谷 和也 様

徳永 エリ

皆様のご活動に心から敬意を表します。

6月1日付でいただきました貴団体のご要請について、私の考えを以下のとおり回答させていただきます。至らない点もあるかと思いますが、今後も、多くの皆様のご意見を伺いながら、必要な修正や補強をし、今後の活動に活かしていく所存です。

記

要請事項

1. 原発と人間社会は共存できないことを明確にし、原発のない社会への大前提となる「原発再稼働反対」を明確に意思表示し、再生可能エネルギーの本格的な普及政策を実行することを公約してください。
2. 福島第一原発事故のすべての被害者に、完全な賠償と徹底した除染を行い、継続的な健康調査の実施と医療保障を実行することを公約してください。

<回答>

1. について

私は、福島第一原発事故の後、民主党の原発事故収束対策プロジェクトチームのメンバーとして活動しました。福島第一原発事故による住民生活や自然環境への影響を考えれば、原子力に依存しない社会を実現していくことが不可欠です。そのために、安全・安心な代替エネルギーへの転換を図るため、太陽光や風力発電の普及と送電網の増強、発送電分離のシステム改革、地産地消・地域分散型の再生可能エネルギー導入を推進し、原発ゼロをめざします。原発再稼働については、安全性はもとより、責任と実効ある避難計画の策定と訓練の実施、関係自治体・住民の理解と合意という3つの前提条件が克服されない限り、再稼働すべきではないと考えます。

2. について

原子力政策を推進してきた国の社会的責任を認め、原子力災害からの復興及び再生を強力に推進します。被災者の方々の声が具体化されるように、経済被害などに対する十分な賠償や子ども・被災者支援法などに基づく施策を推進し、除染の徹底、健康調査の強化、医療保障など、健康不安の解消、生活の再建・安定化を可能な限り迅速に進めます。

以 上